

# Voilà! C'est la vie!

ボワラ! カメルーンからこんにちは 2022年11月 №10 (dix) ビ

JICA 海外協力隊 2021 年度3次隊 小島由紀子

みなさんは、カメルーンの協力隊員がどんな暮らしをしているとお思いますか？ 今回は、私のカメルーン（バフィア市）での1日の生活を紹介します。ぜひ想像しながら読んでみてください！

## わたしのカメルーンでの1日

きしやう  
起床  
6:00



ボンジュール!

カメルーンの日の出時頃は1年中6時～6時半ころです。起きるころに、ちょうど外が明るくなり始めます。

いえで  
家を出る 7:30 ころ



あさ朝のしたくをして、ごはんを食べて、出発! たくさん歩きます

かつどう ようちえん  
活動① 幼稚園  
8:30 から (活動先)



せんせい 先生のお手伝いをしたり  
子どもたちと遊んだり...

かつどう きやういくじむしょ  
活動② 教育事務所  
13:30 ころから (配属先)



幼稚園についての報告や活動の相談をしたり幼稚園で使う道具を作ったり... 事務所の人の子どもたちをあずかっていっしょに遊んですごすことも◎



13:00 ころ バイバイ😊



15:00 ころまで

ア dou ma hen  
(またあした!)



かいもの 買物をして  
よりみち 寄り道して  
まちの人とお話  
したりしながら、家へ帰ります。



# 家にかえると...



もちろん手洗い！街のほかの人も洗濯機を使う人はほとんどいません。



**18:30までに！**



16:00ごろ

蛇口からお湯はできません！でも毎日暑いから水でも大丈夫★

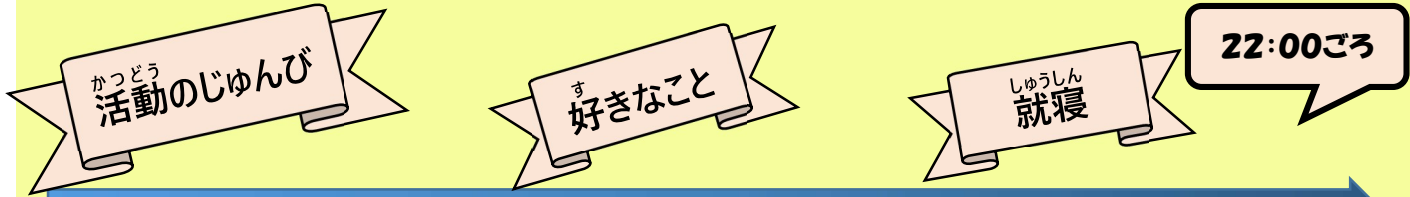


家の前にすわってゆっくりしたり、近所の子を遊んだりして、ちょっと一息♪



カメルーンにある食材を使って、工夫してごはんを作ります♪

**?** ここで問題！！なぜ私は **18:30 までに**、水あび・洗たく・夜ごはんを終わらせるのでしょうか？  
 こたえは、一番下を見てね



22:00ごろ



- ・フランス語の勉強
- ・本を読む
- ・日記をかく など

- ・幼稚園で使うものを作る、描く
- ・幼稚園で行うあそびを考える
- ・報告書やおたよりに作る など



ボンニウイ！  
(おやすみなさい)

カメルーンの協力隊員は、街に住む多くの人たちよりもちょっとよい暮らしをさせてもらっています。そんな中でも、停電（電気がつかなくなること）や断水（水が出なくなること）は、あたりまえ😊私の住むバフィアでは、ほぼ毎日です。でも街の人はみんな、C'est la vie!!（これが人生さ！こんなもんさ）C'est Bafia!!（これがバフィアだよ！）と言って笑ってすごしています。私もすっかり慣れてしまいました。工夫しながら生活するのも楽しいものです。C'est Cameroun！（これがカメルーンです！）

**こたえ★停電になっても困らないように★**  
 バフィアでは、一度停電してしまうと半日以上電気がもどらないこともふつうです。その停電が、もしも夜、はだかで水あびをしているときだったら？ ご飯を作っているときだったら？ とても困ります。だから私は、まだ外が明るい時間のうちに、家の中でしななければならないことを終わらせています😊



# カメルーンでみーっけ！



この写真をじっくり見て考えてみよう！

これは学校の横にある建物です。なにをしたらいいかな？



これはある学校のトイレです。カメルーンの多くの学校では、校舎とは別にトイレが建てられています。このトイレは、小学校1校と幼稚園1校の子どもたちが使用しています。小学校には700人くらいの子どものが、幼稚園には100人くらいの子どものがいますが、その子どもたちが使えるトイレはここだけ。トイレの部屋

は4つ。さらに、トイレの部屋に入ると便器が2つずつあります（他の学校は1つずつのことが多いです）。幼稚園の子どもたちは、トイレの時間になると、先生と一緒にトイレを使う練習をしながら利用しますが、小学生の子どもたちの多くはトイレの中ではなく、トイレや学校の裏の草むらで済ませています。



私が活動している他の幼稚園の中には、グラウンドの塀に向かってトイレをすますところもあります。なぜなら、全員が短時間で一度にトイレを使うことができるほど、トイレの数が少ないからです。

もしかしたら、近くの草の中でパッとすますことができるのは、らくかもしれません。わざわざトイレに行かなくてもいいから、面倒くさくないかもしれないですね。でも、トイレが整っていないと困ることも実はたくさんあります。それはどんなことだと感じますか？

たとえば、だれであってもトイレをしているところを人に見られたくはないですよ。病気の心配もあります。安全で安心して使えるトイレがないために学校を休まざるを得ない女の子もいます。

世界では今、約3~4人に1人がトイレを使用できないそうです。11月19日は「世界トイレの日」。

学校でのトイレの使い方はどうかな？ トイレの役割ってなんだろう？ 世界にはどんなトイレがあるのかな？ この機会にみなさんと考えてみてくれたらうれしいです。

『ユニセフ 世界トイレの日プロジェクト』で検索してみよう！

6 安全な水とトイレを世界中に

